



平成27年12月24日  
第五管区海上保安本部

## 海上の気象情報を提供開始！

第五管区海上保安本部では、新たな取組みとして、船舶の航行海域における気象情報を提供するため、大阪湾の玄関である明石海峡及び友ヶ島水道に設置している灯浮標に気象情報（風向・風速・波高）提供システムを整備し、12月25日（金）から運用を開始します。

また、この灯浮標は、AIS（船舶自動識別装置）を活用し、航海用レーダー画面上にシンボルマークを表示させる、「リアルAIS航路標識」としても、同日から運用を開始します。

### 1 灯浮標で気象を観測するメリット

これまで、海に近い陸上の灯台等で観測していましたが、地形などの影響で海上の風向・風速と異なることがありました。海上の気象情報を提供することで、船舶は、自船の航行環境の気象を知ることができ、より安全運航につながります。

これら2箇所は、大阪湾周辺で、船舶が輻輳し、かつ釣りなどのマリンレジャーが非常に活発な海域であり、海難防止に役立たせたいと考えております。

### 2 運用開始日時等

#### (1) 運用開始予定日時

平成27年12月25日（金）0900

#### (2) 気象観測場所（下図の2箇所）

①明石海峡航路中央第二号灯浮標（兵庫県）※風向・風速のみ

②洲本沖灯浮標（兵庫県）（友ヶ島水道（由良瀬戸）北方）

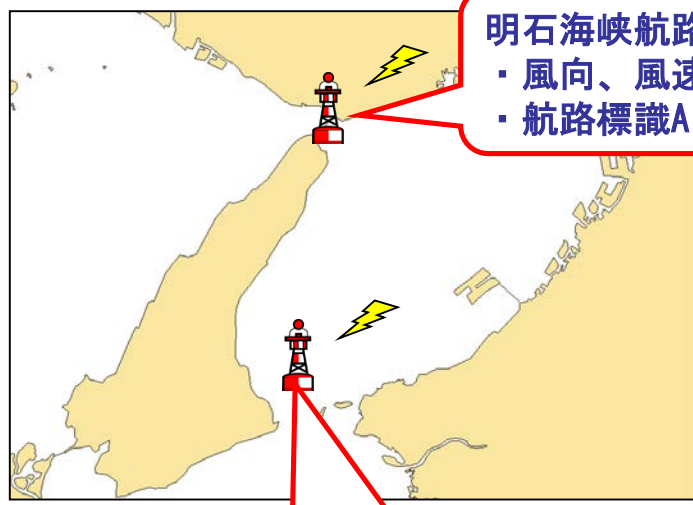
#### (3) 情報の提供方法

- ・AIS
- ・MICS（WEBサイト、スマホ、電話）



# 灯浮標からの気象情報提供システム(12月25日から運用を開始します)

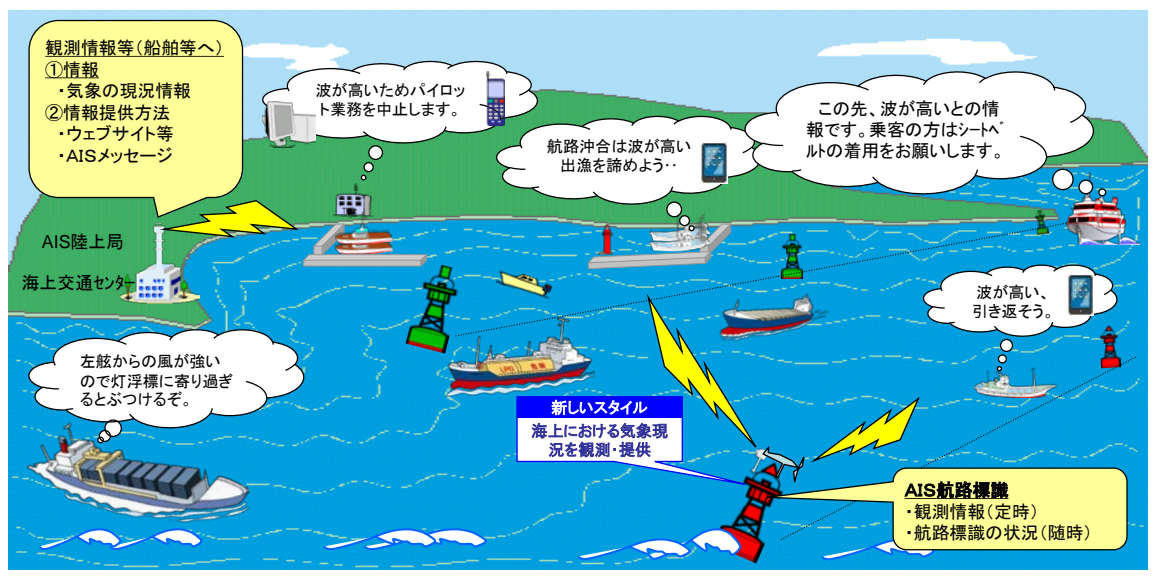
海上で観測した気象情報を提供するため、大阪湾の玄関である明石海峡及び友ヶ島水道に設置している灯浮標に気象情報(風向・風速・波高)提供システムを整備します。これまでは、近くの陸上の灯台等で観測した気象情報を提供していましたが、地形等の影響で必ずしも海上と同じでなく、海上の気象情報を提供することで、船舶は、自船の航行環境の気象を知ることができ、より安全な運航につながります。これら2箇所は、大阪湾周辺で、船舶が輻輳し、かつ釣りなどのマリンレジャーが非常に活発な海域であり、海難防止に役立たせたいと考えております。



**明石海峡航路中央第二号灯浮標**  
・ 風向、風速情報  
・ 航路標識AIS情報

**洲本沖灯浮標**  
・ 風向、風速、波高情報  
・ 航路標識AIS情報

気象情報提供システムのイメージ図



# 気象情報の提供方法

MICS



気象情報は

- ・ AISメッセージとして灯浮標から直接船舶に送信されます。
- ・ MICS(WEBサイト等)で、情報提供されます。

気象現況 観測日時：2015/11/16 15:55

観測所名	風向	風速	気圧	波高
神戸船舶通航信号所	-	風弱<	-	-
大阪灯台	西南西	2 m	-	-
大阪船舶通航信号所	天気、視程、風浪の情報はこちらをクリック			
江崎船舶通航信号所	南東	3 m	1021 hPa	-
明石海峡航路中央AIS信号所(試験運用中)	東南東	2 m	-	-
洲本沖AIS信号所(試験運用中)	-	風弱<	-	穏やか

日出没情報

神戸

日付	日出/日入	時刻
2015/11/1	日出	06:33
2015/11/1	日入	16:55
2015/11/1	日出	06:34

潮汐情報

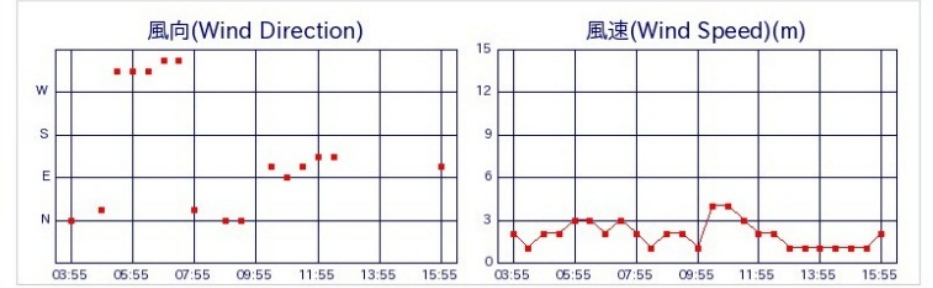
神戸

日付	時刻	潮位
2015/11/1	03:28	27 cm
2015/11/1	10:15	143 cm
2015/11/1	15:41	107 cm

気象現況(全国) > 第五管区 > 神戸海上保安部 > 明石海峡航路中央AIS信号所(試験運用中)

明石海峡航路中央AIS信号所(試験運用中)

気象情報(最新12時間) 観測時刻 2015/11/16 15:55

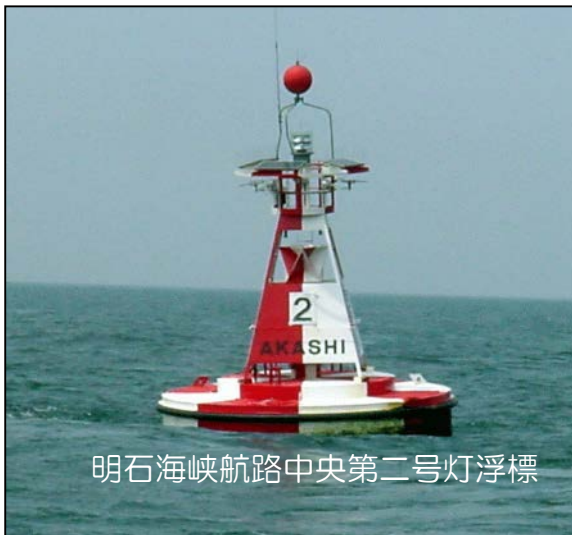
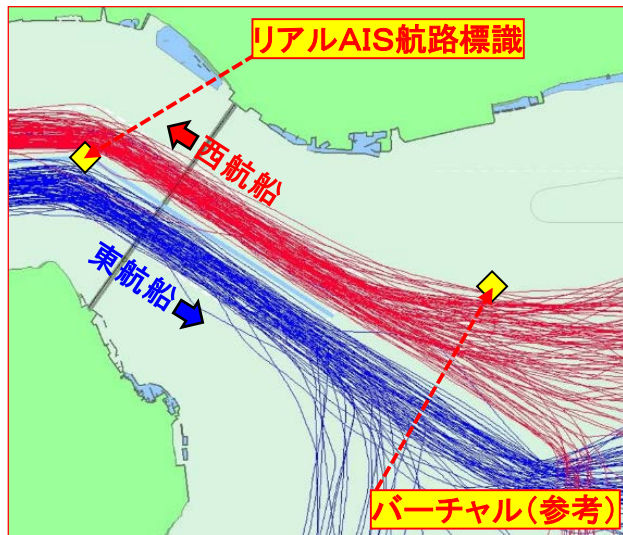


日付	時刻	風向	風速
2015/11/16	15:55	東南東	2 m
2015/11/16	15:25	-	風弱<
2015/11/16	14:55	-	風弱<



# リアルAIS航路標識の運用開始について

- 明石海峡航路中央AIS信号所  
(明石海峡航路中央第二号灯浮標に設置)

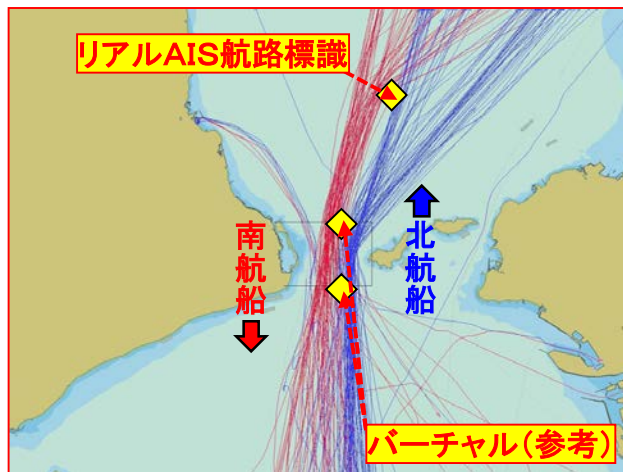


**管内初**

リアルAIS航路標識(2基)を、平成27年12月25日から運用開始します。

(これまではただの点としてレーダー画面上に表示されていた灯浮標が、運用開始からは、名称、位置等の情報も併せて表示されます。)

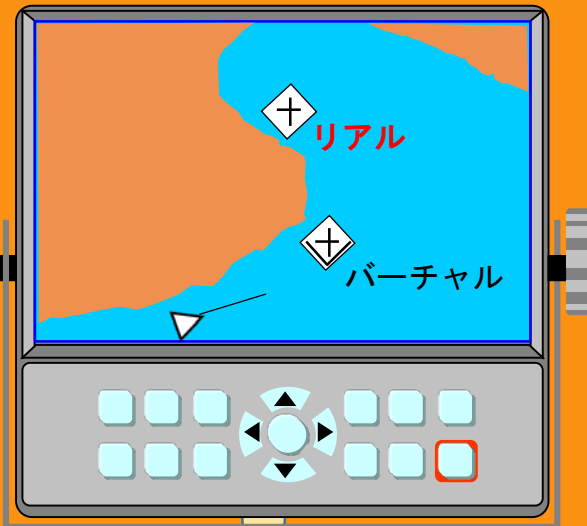
- 洲本沖AIS信号所 (洲本沖灯浮標に設置)



# AIS航路標識のイメージ

AISによって送信され、航海用レーダー画面上に表示される  
デジタル航路標識

※AIS：船舶自動識別装置



船上のAIS表示画面

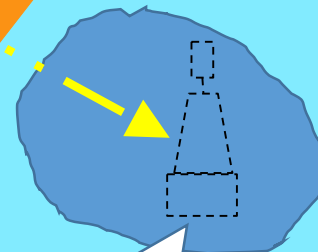


海交通センター



**リアル (Real)**

- 航路標識：実在
- 送信場所：同一



**バーチャル (Virtual)**

- 航路標識：仮想
- 送信場所：他の場所



# AIS(船舶自動識別装置: Automatic Identification System)とは

AIS(船舶自動識別装置: Automatic Identification System)とは、船舶の識別符号、種類、位置、針路、速力、航行状態及びその他の安全に関する情報を自動的にVHF帯電波で送受信し、船舶局相互間及び船舶局と陸上局の航行援助施設等との間で情報の交換を行うシステムです。

## AISの搭載義務

平成14年7月1日に発効された「1974年の海上における人命の安全に関する条約(SOLAS条約)」を受け、国内では、平成20年7月から次の特定の船舶に対し、AISを搭載することが義務づけられています。

- (1) 国際航海に従事する300総トン数以上の全ての船舶
- (2) 国際航海に従事する全ての旅客船
- (3) 国際航海に従事しない500総トン数以上の全ての船舶